

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
各 年 次 ( 学 年 )	第 3 学 年	自己理解・自己管理能力を高めさせる。	生活の記録等を活用しながら、自己管理がまだできていない生徒に対しては適宜指導する。		
			第3学年次における1ヵ年皆勤数40名(約5割)を目指す。		
			キャリア・パスポートやマイノートを活用しながら、個別面談を効果的に実施する。		
		社会形成能力を身に付けさせる。	生徒主体の行事運営を心がけ、リーダー及びコミュニケーションスキルの育成を図る。		
			校外におけるボランティア活動に積極的に参加できる生徒の育成を図る。		
			進路決定後の学校生活を充実させるため、具体的な目標と計画を立てさせる。		
課題対応能力・キャリアプランニング能力を身に付けさせる。	希望進路先をより詳しく調べ、その実現に向けた具体的対策を綿密に行う。				
	長期休業中の学習活動を充実させる(学習会の実施や進路別指導等)。				
	進路決定後も資格取得に挑戦させ、上位級を取得して卒業させる。				
事 務 部	安全で包摂的、効果的な学習環境の整備、充実をはかる。	安心安全な学校生活を支援するため、施設の維持管理に努める。			
		障がい及びジェンダーに配慮した教育施設の整備を検討する。			
		定期的な安全点検を実施する。			
	SDGsを推進し、環境に配慮しつつも効率的で効果的な予算執行を行う。	環境に配慮しつつ節減可能な部分を洗い出し、中長期的な視点で予算を執行する。			
		全職員の共通理解をはかり、節電・節約を推進する。			
		学校のICT活用、情報発信、学校間連携事業を支援する。			
対話力の向上に努める。	相談しやすい、入りやすい事務室を基本とし、対話をもって相互理解に努める。				
	関係機関・保護者等外部へは、誤解を生じないよう真摯な対応を行う。				
	生徒の個性を理解し、話をよく聞き丁寧に対応する。				

項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
評価項目以外のものに関する意見	

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
---